



UN HABITAT
FOR A BETTER URBAN FUTURE



من الشعب الياباني
From the People of Japan



記者会見概要

日本政府支援による国連人間居住計画（UN-Habitat）スーダンプロジェクトの実施 “スーダン白ナイル州における南スーダン難民並びにホストコミュニティへの支援”

2018年3月21日、スーダンハルツーム市において日本政府、UN-Habitat スーダン事務所、スーダン白ナイル州政府は日本政府支援による新たなプロジェクト実施にむけての記者会見を開催いたしました。

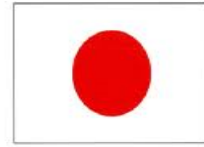
日本政府の支援を受け、UN-Habitat スーダン事務所は新たなプロジェクトとして“スーダン白ナイル州における南スーダン難民並びにホストコミュニティへの支援”を2018年4月より実施することとなりました。本プロジェクトは白ナイル州ジャバレン市において、市民の生活の中心となる市場並びにパブリックスペースを整備し、南スーダン難民並びに急激な難民増加により影響を受けるホストコミュニティが安全で衛生的な居住環境を享受し、2017年にスーダン国内で広く確認された急性下痢症やその他の感染症の拡大を予防することを目的としています。また本プロジェクトには南スーダン難民並びにホストコミュニティ、とくに若者と女性が自助努力により居住環境や衛生状況を改善するため、安価で環境負荷の少ない建設資材の生産並びにこれを活用する職業訓練を実施いたします。職業訓練はジャバレン市の市場並びにパブリックスペースの整備の実務を通して行われます。

UN-Habitat スーダン事務所、ワエル・アシハブ所長は記者会見に参加されたゲスト並びにメディアへの感謝の意を表するとともに、UN-Habitat は連邦・州政府と現地のパートナーとともに本プロジェクトを成功させることに最大限の努力を払うことを約束し、本プロジェクトの成果が長期的に持続され、居住環境や衛生条件の悪化を予防するには、現地コミュニティのすべての人々、南スーダン難民、シビルソサエティ、州政府やジャバレン市並びに民間セクターの協力が不可欠であることを強調いたしました。

また、ワエル所長は人道支援、中長期的な復興開発支援を緊急に必要とする人々（国内避難民、周辺国からの難民、帰還民）がスーダン総人口に占める割合が非常に高く、この状況が引き起こす深刻な現状について説明いたしました。特に、想定外の大規模な南スーダン難民のスーダンへの流入が継続的に増加する傾向があり、非常に高い割合の難民が白ナイル州に一時的に居住していること、またこれによる現地のホストコミュニティが深刻な影響を受けていることを報告いたしました。



UN HABITAT
FOR A BETTER URBAN FUTURE



من الشعب الياباني
From the People of Japan



ワエル所長は日本政府による本プロジェクトに対する支援に心からの感謝の意を表するとともに、プロジェクトがジャバレン市の居住環境、就労機会、衛生環境の改善につながり、また、南スーダン難民並びにホストコミュニティの人々が尊厳をもって暮らせる環境づくりに広く貢献すると説明されました。

在スーダン日本国大使館、浦林紳二特命全権大使は会見において、南スーダン難民とこれを受け入れる現地のホストコミュニティが一体となり、人々の居住環境を共に改善していくことが非常に重要であると述べられました。また南スーダン難民と現地のコミュニティが本プロジェクトに協働するプロセスが、難民とコミュニティの調和のある円満なコミュニティの一体化に貢献すると信じていると述べられると共に、スーダン政府が実施している寛大な南スーダン難民受け入れについて、スーダン政府に対する賛辞を贈られました。

スーダン白ナイル州、アブドル・ハמיד・ムサ・カシャ州知事は日本政府が非常に重要な本プロジェクトへの支援を行うことに対する感謝の意を述べると共に、白ナイル州政府が本プロジェクトに積極的に関与するとともに、プロジェクトの実施に直接的に関与すること、州政府として出来るすべての支援を行うことを約束いたしました。

本記事に関する更なる情報が必要な方は下記担当までご連絡ください。

UN-Habitat スーダン事務所 次長 横田雅幸

電話: +249 90090 7477 Email: masayuki.yokota@un.org